

秋田県産CLTの製造・実証の取組（H28年度）

（１）背景と目的

CLT（直交集成板）は、木材の需要拡大に貢献する新材料として注目されていますが、量産型製造工場の新設には、多額の投資が必要であり、そのことが、CLTの県内生産実現に向けた課題となっています。

そこで、県立大学木材高度加工研究所（木高研）の協力の下、量産型製造工場の新設に依らず、県内企業の既存設備を活用した受注生産型のCLT製造を実証する取組を行いました。

（２）内容

ア 製造施設整備

木高研で開発された小型の平板プレスでCLTを製造する研究成果等を技術移転し、県内の集成材メーカーである相澤銘木株式会社の既存プレス機を使用して、実大サイズのCLT製造に取り組みました。



CLTは一般的な集成材と比べて寸法や重量が大きくなるため、運搬に係わるラインの改善等を実施しました。

イ J A S 認定の取得

CLTを建築物の壁や床などの構造用材料として使用する場合、J A S 認定又は建築物ごとに国土交通大臣の認定が必要となります。

このため、今回の製造・実証事業では、木高研及び（公財）秋田県木材加工推進機構の協力を得ながら、実証施設でのJ A S 認定取得に取り組み、平成29年3月29日付けで認定を取得したところです。

※ J A S（日本農林規格）：「林産物の規格化及び品質表示の適正化に関する法律」に基づく、農・林・水・畜産物およびその加工品の品質保証の規格

（３）得られた成果

本事業により、県内企業の既存設備を利用したCLT製造を実証するとともに、製造したCLTが確かな品質を持つことを、J A S 認定の取得により証明することができました。

J A S 認定内容

認定番号：J P I C - C L 9

認定区分：低ホルムアルデヒド直交集成板（F☆☆☆☆）

強度区分：Mx60-3-3, 5-5, 7-7 S60-3-3, 5-5

接着剤：レゾルシノール・フェノール樹脂

最大寸法：1 m (W) × 4 m (L) × 0.21 m (T)

（４）今後の展開

県内で受注生産型CLT製造モデルを確立するためには、量産工場の製品との差別化や製造コストの検証などの課題が残っていることから、今後は、それらの課題解決に向けた取組を行ってまいります。